

# PFI(地域交流施設整備)と指定管理(都市公園・道の駅・地域交流)を一体実施(指宿市)

## (1) 事業概要

公園内に「物産センター」、「物産館」等の機能をもった「地域交流施設」を整備、あわせて、トイレや道路情報案内施設(道の駅機能)、都市公園、駐車場整備を一体的に実施。集客施設には、指定管理者制度により、利用料金制を導入し、効率的・効果的な施設運営を実現した。

## (2) 効果・ポイント

[1] 指定管理者である民間企業のノウハウを活かすことで、多様化する施設利用者のニーズに対応。地域交流施設には、毎日多くの観光客や市民が訪れており、多様化する個々のニーズに対応しており、民間ならではの行き届いたサービスを提供。

[2] 特産品の販売やレストランのような業務は、行政より民間が得意とする分野であり、類似事業での経験や経営ノウハウを生かすことにより、利用者に対してはサービス水準の向上が、生産者に対しては集客力の増加による生産意欲の向上が期待され、さらに地域全体の活性化への波及効果などが期待される。

[3] PFI事業の点からも、従来型の公共事業方式で整備・維持管理・運営した場合と、PFIで実施した場合とを比べ、PFI事業の方が15年間で37%(約1億766万円)の経費削減



施設全景  
(地域活性化センターHPより)

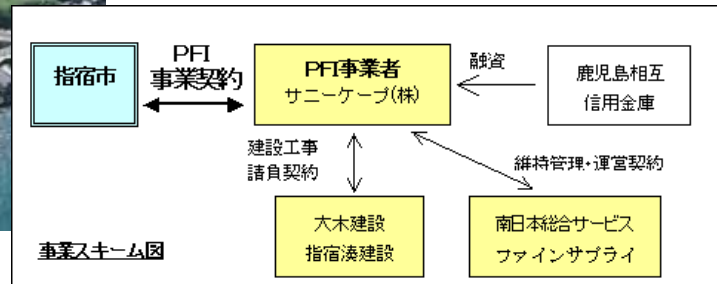
## ■ 事業の主な内容

(出典)内閣府PFI推進室、PFI協会、地域活性化センターHP

項目	内容
事業名	指宿地域交流施設整備等事業
発注者(人口)	指宿市 (43,266人:H25.11月現在)
整備内容・規模	全体 14,600 m <sup>2</sup> 地域交流施設＝地域交流施設(鉄骨2階建て) 809 m <sup>2</sup> (PFI事業)、都市公園・駐車場(指宿市都市公園事業)、トイレ・道路情報案内施設(国土交通省事業)
事業内容	国道226号線沿いの公園における地域交流施設の整備と、都市公園・道の駅・地域交流施設の維持管理・運営を一体的に実施
事業方式	PFI・BTO方式
選定事業者 (落札価格)	株式会社サニーケープ 総事業費 <b>364,904千円</b> (施設整備費206,086千円 15年間の維持管理費158,818千円)
事業期間	15年間(平成16年10月1日～平成31年9月30日)
選定方法	非公募

## ■ PFIによる財政負担額の削減効果 (単位:百万円)

項目	削減効果
財政負担額	約107.66
指数(%)	37%



スキーム図(内閣PFI推進室HPより)